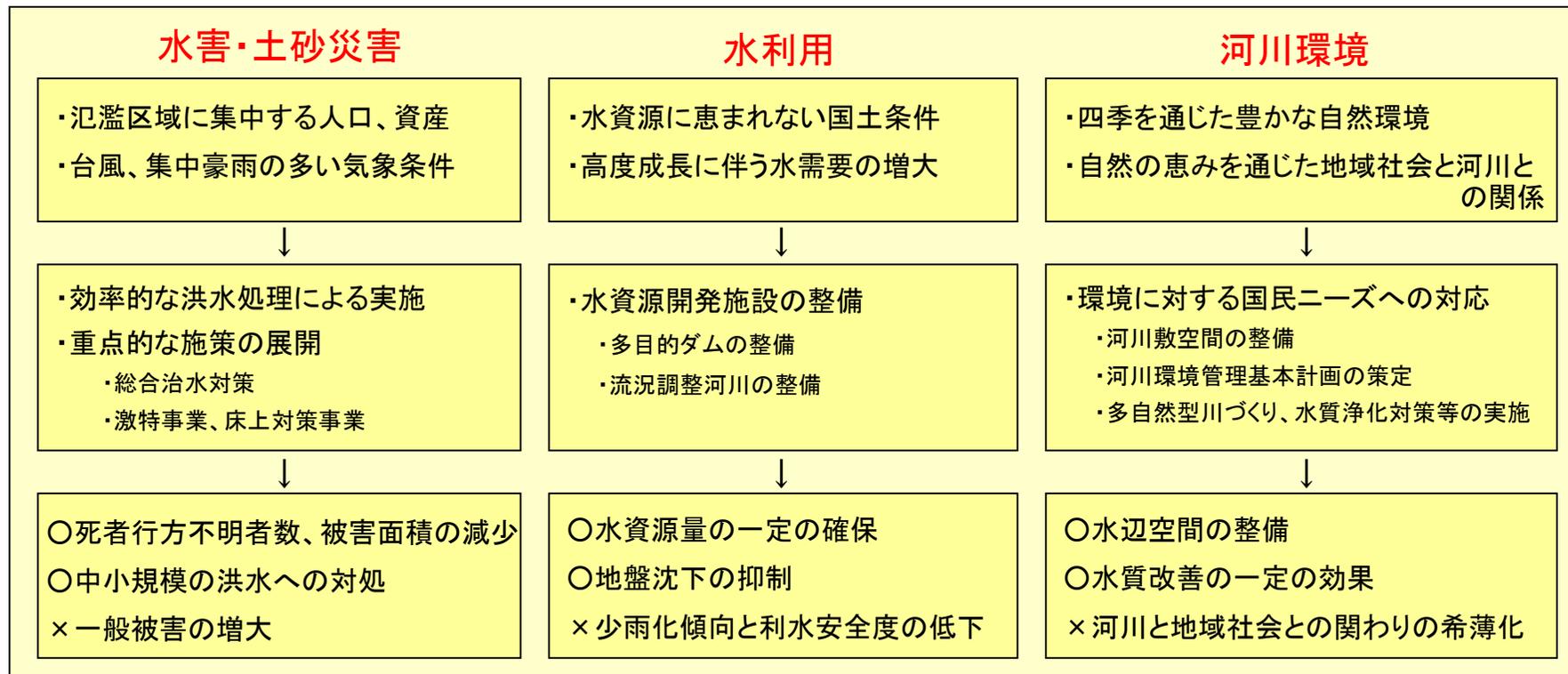


新しい時代における
安全で美しい国土づくりのための
治水政策のあり方

河川分科会 答申 参考資料

I. はじめに

(1) 従来の治水政策の効果と課題

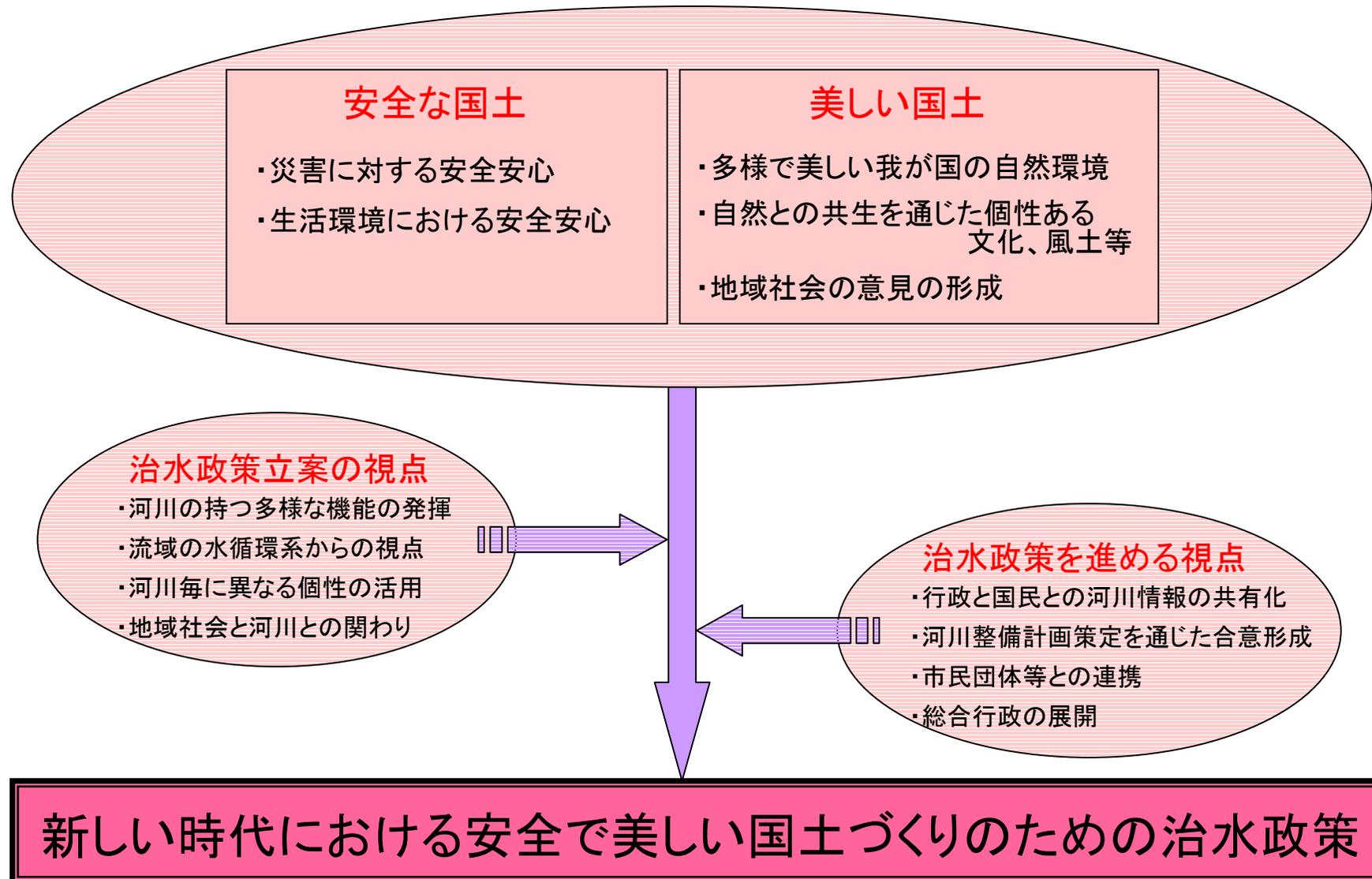


(2) 新たな時代の要請と治水政策上の課題

自然条件	社会条件	国民意識
<ul style="list-style-type: none">・地球規模の気候変動・都市のヒートアイランド現象・極端な気象現象や台風の大型化	<ul style="list-style-type: none">・少子高齢社会の到来・都市への人口、資産の集中・地下空間利用の増加・情報化時代	<ul style="list-style-type: none">・自然環境への関心の増加・市民活動の活発化・防災情報への意識の向上・行政手続きの透明性、客観性の向上

II. 新しい時代における安全で美しい国土づくりのための治水政策のあり方についての基本的考え方

国土とは：単に大地のみをさすのではなく、そこで人間や他の動植物が生きる有機的な空間であり、その営みまで含んだ複合体



※治水政策とは：治水、利水、環境に関わるハード・ソフト一体となった総合的な施策

安全で安心できる国土づくり

(1) 流域・氾濫域での対応を含む 効果的な治水対策の実施

- ・総合的な治水対策の枠組みの検討
- ・都市計画、下水道、公園行政等との連携の強化
- ・下水道ポンプとの運転調整
- ・既存調節池の位置付けの明確化
- ・輪中堤、宅地嵩上げ等の対策の実施
- ・豪雨時の森林からの流木への対応
- ・流域の特性に応じた治水対策の選択

(2) 治水施設の信頼性の向上と 治水事業の一層の効率化

- ・治水施設の機能の維持・向上
- ・事業箇所の一層の重点化
- ・既存治水施設の有効活用
- ・コスト縮減

(3) 被害最小化のためのソフト対策

- ・わかりやすい防災情報、濁水情報の提供
- ・浸水想定区域の公表
- ・ハザードマップ作成と周知の支援
- ・水害リスク情報の開発
- ・地下空間での浸水対策の推進
- ・土砂災害危険箇所の増加抑制
- ・防災関係機関、利水者との連携

(4) 安心できる生活環境

- ・安全な水の確保
- ・災害弱者への対応

(5) 危機管理施策の推進

- ・高規格堤防整備、異常濁水対策、
火山砂防対策

美しい国土づくり

(1) 河川等を活かした 地域づくり等の支援

- ・地域のアイデンティティ機能の発揮
- ・歴史、文化、風土を活かした河川整備
- ・河川を活かしたまちづくり
- ・都市計画行政等との連携
- ・水辺都市再生の推進
- ・都市周辺のグリーンベルトの整備
- ・景観に配慮した良好な水辺空間の整備
- ・火山地域等の観光地の安全の確保

(2) 自然再生への取り組み

- ・河川の持つ良好な自然環境の保全・再生
- ・アダプティブマネジメント手法の採用
- ・専門家、市民団体等との連携

(3) 水環境の改善を通じた 川らしさの確保

- ・維持流量の確保
- ・河川のダイナミズムの復元
- ・一層の水質改善への取り組みの推進
- ・流域の貯留浸透によるうるおいのある川
- ・流域の土砂管理による河床等の保全

(4) 環境学習等への支援

- ・環境学習の場としての水辺の提供
- ・ホームページ等による情報提供

(5) 適正な河川利用の支援

- ・安全性確保のための市民団体等との連携
- ・河川利用者間の調整の支援

今後の治水事業の展開に向けて

(1) 総合的な水行政の展開

- ・流域を基本単位として総合的な水行政
- ・水循環の健全化の視点
- ・総合的な水管理のための枠組み

(3) 治水事業のさらなる効率性の 向上を目指して

- ・降雨の予測による、より正確な施設運用
- ・気象予測の研究・開発
- ・リスク管理に関する研究

(2) 河川環境の整備と保全に 関する目標の検討

- ・河川や流域毎に異なる環境の目標
- ・河川環境の構造的な把握
- ・治水計画への反映

(4) 地球規模の気候変動等への対応

- ・洪水と渇水が多発化への対応
- ・地球温暖化による影響
- ・海面上昇に伴う治水計画への影響
- ・大都市のヒートアイランド現象による影響